

令和7年度 地域振興推進費事業総括表

整理番号	課題区分	事業名	事業概要	事業期間	備考
1	C	国定公園化に向けた御嶽山魅力発信及び御嶽山安全対策事業	・御嶽山国定公園化に向けてポスター、チラシ、卓上広告及びPR動画を作成し、木曾郡内の住民や事業者に対して国定公園化の機運醸成を図った。 ・火山防災の先進地視察を行い、登山者等の安全に配慮しつつも観光の推進に寄与する効果的な情報発信のあり方を検討した。	令和7年8月 ～ 令和8年3月	
2	C	ふるさとの思い出造成事業	・一町村にスポットを当て(令和7年度は上松町)、上松中学校の学生を対象に地域の特産品を活用した体験(木を使ったボールペンと箸づくり)を行い、地元への愛着形成を図った。	令和7年9月 ～ 令和8年3月	
3	C	木曾地域リニア活用推進事業	・リニア中央新幹線開業に向け、「木曾地域リニア活用推進協議会観光・交流部会」を開催し、岐阜県駅を視野に入れた県境を跨ぐ観光地域づくりに関するパネルディスカッションを実施した。	令和7年6月 ～ 令和8年3月	
4	C	ふるさと納税確保・関係人口創出事業	・関係人口創出の先進自治体を視察し、地域住民が関係人口との交流を深めながら主体的に実践する地域活動を見出したり、ふるさと納税をきっかけとした関係人口の創出や効果的な情報発信の方法等を検討した。	令和8年2月 ～ 令和8年3月	
5	C	信州まつもと空港レンタカー利用促進キャンペーン事業	・松本空港からのレンタカー利用者に対し、空港周辺地域への周遊を促進するため、観光クーポン冊子を配付した。 (松本、北アルプス、木曾、諏訪、長野、上田、飛騨地域)	令和7年6月 ～ 令和8年3月	松本地域振興局
6	C	木曾地域木材産業振興対策推進事業	・産学官により組織する「木曾地域木材産業振興対策協議会」を開催し、地域課題解決のためのロードマップの進捗管理等を行った。 ・林業機械化や地域製材工場の水平連携の体制づくりに向けて、関係者からの意見聴取、勉強会や先進地視察等を行った。 ・都市部の木材製品展示会「ウッドコレクション2026(モクコレ)」に出展し、木曾産木材による家具等の販路拡大を図った。 ・主伐・再造林を促進するための課題調査や勉強会等を実施するとともに、三校連携(林業大学校、上松技術専門校、木曾青峰高校)による現地見学会や交流会を実施した。	令和7年6月 ～ 令和8年3月	
7	C	社会的起業支援事業	・木曾地域で起業を目指す方を対象に、起業マインドを高めるための研修会を開催した。また、過年度(R1～R6年度)の研修会参加者を対象にフォローアップ講座を開催した。	令和7年5月 ～ 令和7年10月	
8	C	木曾地域広域観光推進事業	町村、木曾広域連合等と連携して「木曾地域観光政策研究会」を開催し、広域観光の推進に向けたアクションプランの作成を行った。	令和7年5月 ～ 令和8年3月	
9	C	木曾地域観光・農産物等魅力発信事業	・木曾地域振興局内の課・所、管内町村、木曾広域連合及び民間事業者と連携し、中日ビルにおいて、木曾地域の観光や農産物等のPRを実施した。	令和7年7月 ～ 令和8年2月	
10	C	災害時保健医療福祉活動の連携強化事業	・木曾地域を震源とする震度6強の地震を想定した防災訓練や講義の実施等により、令和6年度に整備した「保健医療福祉調整本部」の運用体制の確認等を行った。	令和7年10月 ～ 令和7年12月	
11	B	林業・木材産業の人材確保、ブランディング等推進事業	・上松技術専門校や木工の魅力を広く伝えるため、木工・家具作家や木材産業に従事して活躍する上松技術専門校の修了生を紹介する冊子を作成した。	令和7年7月 ～ 令和8年3月	
12	B	木曾青峰高校森林環境科・インテリア科全国募集推進事業	・地域みらい留学合同説明会への参加により、首都圏の中学生等に木曾青峰高校森林環境科・インテリア科全国募集のPRを行った。	令和7年7月 ～ 令和8年3月	
13	C	人口減少対策推進事業	・人口減少をテーマとした知事と県民の皆様との意見交換会を開催した。 ・今後の更なる人口減少を見据え、ドローン活用に向けた研修会を開催した。 ・都市部人材の活躍促進及び移住・定住の促進のため、移住相談員(信州暮らし案内人等)による管内視察・意見交換や地域おこし協力隊の地域定着に向けた研修を行った。 ・中京圏の団体(長野県名古屋県人会や中部経済連合会等)への情報発信及び関係構築を行った。	令和7年7月 ～ 令和8年3月	